

第75回（令和5年12月）文章入力スピード認定試験（日本語）問題

少し前に、役人として働いていた奈良時代の女性の仕事ぶりが分かる資料が見つかり、
話題となりました。記載内容から、彼女は年間329日も出勤していたそうです。都で仕事をする役人は、1か月に5日の休みを取ることが定められていたため、当時の規定を大幅に上回るハードワーカーだったことが分かります。研究者は、彼女はベテランで周りからも頼りにされたことで、出勤日数が増えてしまったのではないかと推測しているそうです。なぜこんなに働いていたことが分かったのでしょうか。それは、彼女の勤務評価を記した木の札が見つかったからです。

当時、役所の文書やメモなど、文字を記すために紙の代わりとして細長い板が使われていました。現在、奈良を中心に全国から40万点近くが見つかっています。木製品であるため、1000年もの時間が経過していれば、ぼろぼろになってしまうのではないかと思います。実際に有機物は、常に乾燥状態にあるか、逆に水分が多く日光と空気から遮られた状態にないと腐ってしまいます。幸いなことにこれらは、そういった環境下にあったため、失われずに済んだのです。ちなみに、出土しやすい場所は川や溝、井戸だといいます。博物館などでは腐食を防ぐために、しばらくの間水に漬けた状態で保存しているそうです。

この時代、紙が無かったわけではありませんが、とても貴重なものであったことや、木に書く方が便利な場合が多かったことから、さまざまな所で使われていました。例えば、多くのものを広げたりとじたり、あるいは遠くまで運ぶのであれば木の方が丈夫であるため、役所の帳簿などに採用されていました。さらに、表面を削ればすぐに再利用が可能なので、メモを取る際にはうってつけです。文字の練習をするために使われていたものも出土しており、その中には落書きされているものもあったようです。また、紙のように破れる心配がないので、荷札としても重宝されました。当時、米や布などの特産物を税として納めていたため、地方から都にさまざまなものが送られてきました。出土したものの中には、その際に使用されたものが多く残されていたそうです。詳しく見てみると、千葉からワカメが、岡山からクラゲが送られていたことが分かっており、イチゴやカキなど、果物に付けられていたものも発見されているそうです。

その他にも、当時の貴族が住んでいた家の跡地からは、牛乳を持ってきた人に米を支給した伝票が見つかっています。さらには、氷をウマで運んだというものも残されていました。何と貴族は、貯蔵庫のようなものを持っており、暑い季節にそこから運搬させていたのです。その権力と財力の大きさがうかがえるでしょう。また、人さし指の関節の位置が墨で記されたものも残されていました。そこに指を当てて、本人であることを証明していたそうです。このように木に記された情報から、古代の政治の仕組みや当時の人々の暮らし、その土地の特産物などについて具体的に知ることができるのです。

近年、リモートワークという言葉をよく耳にします。これは、自宅などオフィスから離れた遠隔地で仕事をする勤務形態のことで、日本だけでなく、世界中で急速に普及しているそうです。これに限らず、多様なワークスタイルを認める企業が増えており、求職者側

も固定観念にとらわれず、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方を求める傾向にある	1,403
ようです。ある通信会社では、各社員が業務の状況に応じて仕事をする時間帯を変更で	1,443
きるようにしたり、さまざまなツールを導入したり、人事制度を見直したりして体制を整	1,483
え、それが話題となりました。	1,498
そんな中、住む家を固定せずに、さまざまな地域を転々としながら生活する人たちも増	1,538
加しています。彼らは、アドレスホッパーと呼ばれており、デザイナーやライター、写真	1,578
家など、パソコンがあればどこでも仕事ができる職種の人が多い傾向にあります。彼らが	1,618
暮らすのはホテルや旅館をはじめ、民泊やゲストハウスなどさまざまです。以前からこの	1,658
生活様式は存在していましたが、移動の際の手続きなどが大変でした。そこで最近登場し	1,698
たのが、全国の提携施設に定額料金で泊まることができるというサービスです。これによ	1,738
り、住み替えのコストが抑えられる他、手続きがインターネットだけで完結できるなど、	1,778
柔軟なライフスタイルを気軽に実現できるというのが特長のようです。	1,811
この働き方の最大の魅力は、人とのつながりを増やすことができるという点でしょう。	1,851
必然的に出会いが多くなるので、コミュニケーションを取る機会が自然と増えます。自分	1,891
だけでは思い付かないような考えが学べたり、今まで知らなかったその地域の魅力を教え	1,931
てもらったりなど、自分の視野や可能性を広げることができる他、新しい発見にもつなが	1,971
ります。また、今いる地域でどのくらい過ごすのかを自分で決めることができます。生活	2,011
拠点に縛られることなく身軽に移動することが可能なので、例えば、寒い時期には暖かい	2,051
地域で暮らすなど、好きな所に自由気ままに赴くことができます。	2,082
前述のように、これにはさまざまな利点がありますが、注意しなければいけないことも	2,122
あるようです。まず、移動を繰り返すため体力が無ければ厳しい面もあるでしょう。環境	2,162
の変化にすぐ対応しなければならず、ストレスを感じたり体調を崩したりしやすくなるた	2,202
め注意が必要です。また、郵便物の受け取りに苦勞する場合もあるでしょう。これについ	2,242
ては、ある程度工夫をしなくてはなりません。そのため、今いる拠点に合わせて配達して	2,282
もらう場所を指定したり、全国各地の郵便局で受け取ることができる私書箱を利用したり	2,322
する必要があります。さらに、自宅は無くても住民票の登録は不可欠です。届け出をしな	2,362
いと過料が科せられることがある他、運転免許証の更新や選挙の投票ができないという問	2,402
題も発生します。ただ単に、荷物を持って好きな地域に行けばいいというわけではなく、	2,442
入念な準備と手続きが欠かせないのです。	2,462
他にも、カフェやコワーキングスペースなど、さまざまな場所で仕事をする方法や、平	2,502
日は都心部で作業をして週末は地方で暮らすという、生活拠点が2か所存在するスタイル	2,542
などがあるようです。わが国では、地域によって差はありますが、縄文時代後期に定住生	2,582
活が始まったのではないかと考えられています。それ以降、わたしたち人間のほとんどが	2,622
一つの場所に定住してきました。これが、働き方や価値観の多様化によって変わりつつあ	2,662
るようです。	2,668